



りとせだより



8月

りとせ橋本保育園 2020年8月1日発行



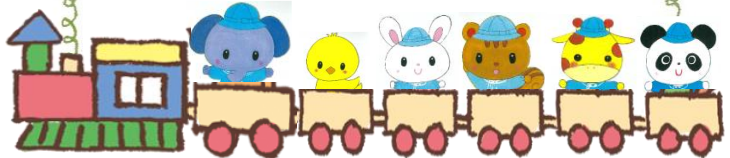
毎日不順な天気が続きますね。そんな気候の中でも、子どもたちは毎日水あそびや夏野菜の収穫など、夏ならではの体験を思いっきり楽しんでます。さて、先日新型コロナウイルス感染症防止の為、園児のみの参加となりましたが、りとせ祭りが開催されました。「わっしょい！わっしょい！」と元気な掛け声と共にお神輿が担がれスタート！各ゲームコーナーを楽しそうにまわる子どもたちの姿が見られました。給食には焼きそばやたこ焼きのお祭りメニュー、おやつには、かき氷をおいしそうに食べる子どもたちの姿が見られました。いよいよ夏本番です。新型コロナウイルスだけでなく、この時期に多い感染症や熱中症などにも十分に気を付け、子どもたちの健康管理・安全対策をして参りたいと思います。引き続きご協力をお願い致します。



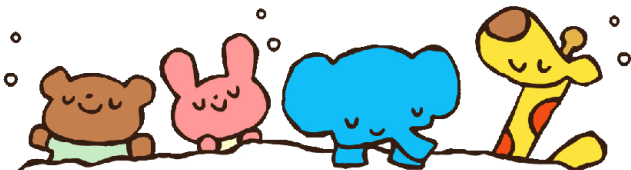
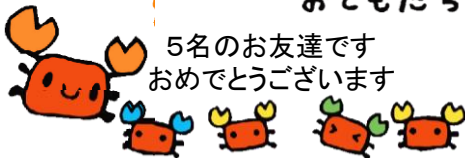
行事予定

- 17日(月) 英語教室(プリンス英米学園)
- 18日(火) 避難訓練(火災)
- 19日(水) 内科健診
- 21日(金) 英語教室(プリンス英米学園)
- 25日(火) 誕生会(クラスごと実施)
- 28日(金) リトミック教室(カワイ音楽教室)

※7日に予定されていた給食試食会は新型コロナウイルス拡大防止の為中止とさせていただきます。



8月生まれのおともだち



子どもの脳の健やかな発達を促すために

子どもの脳の健やかな発達に、スキンシップが大きな役割を果たしています。保護者の方の中には、日々の仕事や家事の忙しさから、子どもとのスキンシップよりも家事や仕事の方を優先してしまう事もあるかもしれません。しかし、子どもにとって欠かせないのは、親に甘える時間とされています。親のぬくもりに触れながら、見つめ合い、笑顔を交わすことで安心感や信頼感などが得られます。たとえ短い時間であってもスキンシップをしっかりとるように心がけ子ども達が愛情に満たされるようにしていきます。

鼻の日

8月7日は「鼻の日」です。鼻の役割とは・・・？

- 呼吸をします。 □においをかぎます。
- 鼻に入った空気からほこりを取り除き、肺に空気を送ります。

鼻を大切に！

- ・鼻をかむ時は片方ずつ静かにかみましょう。両方を同時にかむと耳を痛めます。また、鼻の穴に物を入れないように注意しましょう。

夏野菜

ぞう・きりん・ぱんだ組が植えた、なす、ミニトマト、パプリカが太陽の光を浴びてぐんぐん大きくなりました。なすとミニトマトは収穫してお給食で食べました。パプリカは収穫までもう少しです。甘くて美味しかったです！





ほけんだより

8月号



2020年8月1日
りとせ橋本
保育園

暑いと体力がおちて、食欲がわからないことや、つい冷たい物ばかりを食べてしまうことがあります。暑さに負けない体力づくりをするためにも、しっかりとご飯をたべられる工夫をしましょう！

虫さされが増えています！！

乳児が蚊に刺されると、大人より反応が遅く、1～2日後に症状が出る場合があります。時間が経つにつれ、赤く腫れたり、水ぼうがができたりし、腫れる場合も大人より大きく腫れあがります。これは、虫刺されの経験がすくないために起こる激しい炎症反応です。

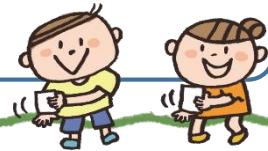
虫刺されの手当て

- ①水でよく洗い流す
- ②虫刺されの薬をつける
(さされた直後につけるのが効果的)
- ③かゆみや腫れがひどい時は、冷やす
- ④爪を短く切る(とびひの予防)

※かゆみが強く、腫れが続く場合は、皮膚科を受診してください。

虫よけ剤のぬり方

- ☆手足の先や目元、口元にはつけない
(手や足を口に持っていったり、目をこすったりすることがあります)
- ☆スプレーより、ウエットティッシュ、ジェル、クリームなど塗るタイプのものをついたん手のひらにとってから塗ります。
(スプレータイプのものは、吸い込む恐れがあるのでさけましょう)



寝冷えに 気を付けましょう

クーラーを使用する時期となり、冷やし過ぎなどによる寝冷えが増えています。クーラーや扇風機は様子を見ながら止めるようにしましょう。また、パジャマは汗を吸収しやすい綿やタオル地の物を着せ、上着はズボンの中に入れます。寝る時は、お腹にタオルケットなどをかけましょう。



水分補給

乳幼児の体は、水分が80%を占めています。運動をしなくても、汗や呼吸、尿によって水分は失われていきます。体内の水分が不足すると、夏バテや便秘などの不調が現れます。暑い夏にはしっかりとお茶や水を飲ませ、水分補給をしましょう。ただし飲みすぎには注意が必要です。



車内の注意点

エアコンをつけ、涼しくした車内でも熱中症には注意が必要です。水分補給はもちろんです、日除けなども使用しましょう。また、車に長時間乗る場合は、こまめに休憩をとり、お子さまを少し歩かせるなど、外気に触れさせて気分転換をしてあげましょう

